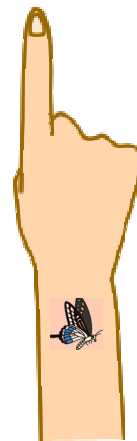


こんなところにとらぶるの芽 (No.26)

～ちょっと気になる消費生活情報をお届けします

タトゥー、アートメイクの除去手術のトラブルに注意！！

最近では、装飾としてのイレズミを「タトゥー」、化粧の一部として、眉やアイライン、唇に色を入れるイレズミを「アートメイク」として、施術する人が見受けられます。しかしながら、後から除去する場合には、費用と時間がかかる場合が多く、後遺障害が残るなど、除去手術についてトラブルが寄せられています。



※ここでは、化粧の一部として色を入れることを「アートメイク」、身体への装飾としてワンポイントで比較的小さく図柄等を入れるものを「タトゥー」と呼びます。

■相談例

- 「レーザー治療を受けたが、消えていない」「ケロイドが残った」
- 「エステサロンで施術を受けたが、ほとんど効果がなかった」
- 「完全に消えると説明を受けて、高額な除去手術を受けたが、きれいに消えていない」



タトゥーやアートメイク等のイレズミの除去は、レーザーを照射するものや、皮膚を切除する方法などがあります。それぞれのリスクなど十分に説明を受けて判断する必要があります。

そして、これらの施術は、医師による施術でなければならないものがほとんどなので、整形外科や皮膚科等の医師のいる機関で受ける必要があります。



タトゥーやアートメイク等のイレズミは、入れるときよりも除去するときの方が、時間と費用がかかり、たいへんです。また、完全に元に戻る保証はありません。ファッション感覚で、安易に入れるのはやめましょう！

<ここに気をつけよう！>

- ・タトゥーやアートメイク等の除去手術は、医師のいる機関で受ける
- ・手術に際しては、リスクやアフターケアなどの説明を必ず受け、料金を確認しておく
- ・疑問、不安に思ったら、すぐに最寄りの消費生活センターに相談する



【アートメイクに関する情報は下記のホームページでご覧になれます】

- ・「アートメイクの危害」（国民生活センター）

http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20111027_1.pdf